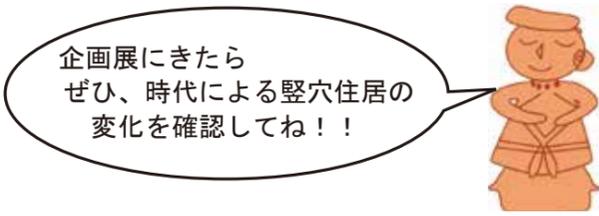


はにわ通信

No.302 令和2(2020)年5月号



【大昔の暮らし(縄文・弥生・古墳時代)～きみの町の遺跡・古墳～ 開催中】

みなさんが住んでいる松阪市には、昔の人が生活していた跡(遺跡)がたくさんあるのを知っていますか?松阪市には、約1500の遺跡があることが分かっています。はにわ館では6月14日(日)まで、学習支援展示「大昔の暮らし(縄文・弥生・古墳時代)～きみの町の遺跡・古墳～」を開催しています。展示室内の遺跡や古墳からの出土品をマグネットにして、見つかった場所に置いていくコーナーもあるので、ぜひ体験してください。

今回の「はにわ通信」では「大昔の建物」の時代による変化と工夫を紹介します。

○建物の変化と工夫

地面を半地下に掘り下げて床にして、その上に茅や藁といった屋根になるものをかけた大昔の建物を竪穴住居といいます。



竪穴住居(縄文時代)

展示室に入るとまず目に入るのが、その大きな竪穴住居です。今から12000年前の縄文時代に造られた竪穴住居に似せたものです。

粥見井尻遺跡(飯南町粥見)からは、すり鉢の底のように掘り下げた4棟の竪穴住居跡が見つっています。住居のつくりは、家の周囲から中心に向かって木を立てかけ屋根をかぶせるようになっていました。

一番大きなもので直径約6mほどです。

縄文時代の竪穴住居の中央部分には、焚火をするような炉がありました。食べ物の煮炊きに使うだけでなく、照明や暖房といった役割も兼ねていたようです。炉を使うことで住居の中が煙でいぶされ、食料の保存や屋根の防虫、防腐対策にもなっていたようです。

弥生時代の竪穴住居は、松阪市では草山遺跡(下村町)、涌早崎遺跡(大津町)等で確認されています。中期になると上から見た穴の形も、それまでの円に加えて四角のものが出てきます。

縄文時代と同じく中央に炉があり、火の中に土器をそのまま置いて焼いたり煮たりしていました。

古墳時代になると竪穴住居を上から見た穴の形は、住居のつくりや柱の立て方の変化に合わせて四角になっていきました。松阪市でも小久保遺跡(垣鼻町)、新田町遺跡(大黒田町)等で古墳時代の竪穴住居が確認されています。



竪穴住居(弥生時代)



竪穴住居(古墳時代)

朝鮮半島から竈を作る技術が伝わり、住まいとした竪穴住居には、炉に変わって壁に接した竈が作られ、煙も外に出す工夫がされています。これまでの時代と比べると家の中で暮らしやすくなったように思えます。

ぜひ、3つの時代の竪穴住居の特徴を、見比べていただきたいと思います。

(担当)

【八十八夜】

夏も近づく八十八夜。風薫る季節ですが、新型コロナウイルスの感染拡大が続き、緊急事態宣言の中で始まる5月です。こんな時こそ、読書や自宅で出来ることを楽しみ、ゆっくりと過ごしたいものです。

そのひと時に日本茶はいかがでしょう?

三重県は静岡県や鹿児島県に次ぐお茶の生産地で、松阪市は県内で3番目のお茶処です。お茶は、奈良・平安時代に中国から遣唐使や留学僧によってもたらされたと推定され、平安初期(815年)の『日本後紀』には、日本茶の喫茶に関する最初の記述があります。松阪では、江戸時代に射和出身の竹川竹斎が茶の栽培を推奨し、飯高町出身の大谷嘉兵衛が横浜でお茶の販売を始めたのが明治元年(1868年)といわれています。

飯南・飯高地域のお茶は、「深蒸し煎茶」といい、お茶本来の風味や甘みが引き出され、どんな水でも美味しく飲めるお茶として愛されています。お茶の効能には、リラックス効果だけでなく、抗ウイルス作用などもあるといわれ、心身ともに良いようです。新茶の季節、美味しいお茶で、一息ついてみましょう。

文化財センターは、5月8日から再開しました。はにわ館での学習支援展示「大昔の暮らし」は、6月14日まで開催しています。行政チャンネルアイウェブまつさかで5月12日から14日に「大昔の暮らし」を紹介します。ぜひ、ご覧ください。(所長)



下記の感染防止対策を徹底することで通常通りの開館をします。

- ①来館者のマスク着用、手指のアルコール消毒をお願いしています。
- ②はにわ館への入退出時や施設内では、人と人との間に十分な間隔をとっていただきます。
- ③必要に応じて入場制限を設けます。
- ④入館の際は、連絡先等のご記入をお願いしています。

以上、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

文化財センター はにわ館 & ギャラリーの催し物予定

5月の休館日は、1日(金)～6日(水)、7日(木)、11(月)、18日(月)、25日(月)
6月の休館日は、1日(月)、8日(月)、15日(月)、22日(月)、29日(月)
開館時間は9:00～17:00です。

【はにわ館】入館料110円(18歳以下無料) *入館は16:30まで

第1展示室 ■常設展「宝塚古墳の謎」

第2展示室 ■学習支援展示「大昔の暮らし(縄文・弥生・古墳時代)～きみの町の遺跡・古墳」 6/14(日)まで



バーコード読み取り
(文化財センター情報)